

第1回 はぴすまカフェ 開催のご報告

女性会員支援部 岡田朋子

10月19日(土)第1回ははぴすまカフェが無事に開催されました。卒後10年以内の若手歯科医師や口腔生命福祉学科の卒業生のみなさんが気軽に交流できる場を設けたい、同窓会を身近に感じていただきたい、という主旨で準会員・臨床研修医支援部と女性会員支援部が合同で行った初めての企画です。内容は、新外来棟見学会とスイーツを楽しみながらのミニ講演会で、一般参加6名、役員7名、講師1名の合計14名、募集よりは少なかったものの、とても良い集まりになりました。

第1部は石澤理事、松山理事が案内しての30分間の外来見学会。ワンフロアに歯科が入っているのは全国の国公立で初めての試みで見学も多いそうです。ユニットは5ブロックに分かれていて、以前の歯学部外来の2/3の数で奪い合い?の毎日。自費患者等が対象の特診室、医科と同じ感染予防レベルの歯周病オペ室、体調が悪くなった患者さんのための回復室他、さまざまな個室がありました。1Fで券を取ると自動的に外来に情報が伝達されて、待合室モニターにユニット番号が表示されます。目が見えない方や年配の方などにはわかりにくい部分もあるとお話でした。感染予防のレベルは驚くほど高かったです。



続くカフェでは、櫻井直樹先生(17期)から同窓会事業の紹介、ご自身の趣味や最近の学会の話など、多岐にご活躍の先生の様子がありました。参加者からも同窓会にこんなにたくさんのサービスがあるとは思わなかったと感想がありました。次の登坂友貴さん(FH2)からは、「転職を経験して～学業と主婦の両立～」というタイトルで大学院後期課程と並行して、市役所保護課で女性相談員として経験を積んでいたのを2年で転職を決意、医療ソーシャルワーカーとして信楽園病院の1名枠に40名応募の激戦を勝ち抜いたエピソード、最後は学部前で撮影したウエディング姿を拝見しました。自己紹介のあとはフリートークで、とても美味しいスイーツをいただきながらのあっという間の1時間半でした。歯科医師の他、衛生士、社会福祉士など多岐にわたる分野でキャリアアップして自分を磨いている口腔生命福祉学科卒業のみなさんを知る事ができました。異業種交流というか、多職種交流会のような感じで・・・最近の学内の話も理事の先生から伺ったり、気軽に語れる楽しい場でした。



アンケート結果は以下の通りです。

性別 男性2名 女性3名

勤務 病院2名 開業医院1名 その他(社協 他)

今後とりあげて欲しいテーマ

仕事やキャリア 4名 / キャリアアップに必要なスキルや知恵 2名

気分転換・ストレスコントロール 4名 / 出逢い・結婚 1名

仕事と家庭の両立 2名 / 子育て 1名

今回の感想 とても良かった 5名

・もっとたくさん同級生が集まればよかったと思いました。新しい外来棟を見学することができて良かったです。

・様々なご準備ありがとうございました。すてきな会でした。また参加させてください。

